

宇宙への挑戦が、未来のビジネスを変える。

日本人初のISS 船長 (コマンダー) 若田光一氏が語る 宇宙開発と産業の未来

宇宙ビジネスの未来を岡山から考える
～ビジネスと地域社会への影響～

2025年

4月28日(月)

13時15分開演(開場12時30分)

申込締切: 2025年4月24日(木)



会場: 関西高等学校 体育館



JR 吉備線【備前三門駅】より西へ徒歩3分
JR 岡山駅より徒歩約20分



中鉄バス 芳賀佐山団地線【関西高校前】【三門】
バス停下車 徒歩すぐ

定員: 1,000名(事前予約制)

参加費: 無料

お申込:



MASC

OKAYAMA KURASHIKI MIZUSHIMA
AERO & SPACE INDUSTRY CLUSTER STUDY GROUP

主催: 一般社団法人 MASC

後援: 倉敷商工会議所、次世代モビリティ瀬戸内コンソーシアム

日本人初の ISS 船長 (コマンダー) 若田光一氏が語る宇宙開発と産業の未来

若田 光一 氏

アクシオムスペース宇宙飛行士・アジア太平洋地域最高技術責任者



有人宇宙活動で 32 年以上の経験を持つベテラン宇宙飛行士であり、世界の宇宙コミュニティで認められたリーダーである若田光一は、アジア太平洋地域におけるアクシオムスペースの事業と戦略的プレゼンスの拡大を主導し、世界初の商業宇宙ステーションであるアクシオムステーションと、アルテミス世代のアクシオム船外活動ユニット (AxEMU) の開発に貢献している。

若田宇宙飛行士は、スペースシャトル、ソユーズ、クルードラゴン、国際宇宙ステーション (ISS) の 4 種類の宇宙船で、日本人最多の 5 回の宇宙飛行、日本人最長の 504 日間の宇宙滞在を実施。1996 年には日本人初のスペースシャトルミッションスペシャリストとして飛行。2000 年には日本人初の ISS 建設ミッションに参加し、2014 年には日本人初の ISS 船長に就任。ISS での 2 回の船外活動 (計 14 時間 2 分) を実施した。スペースシャトル、ISS、日本の技術試験衛星 VII 型の計 5 種類の宇宙ロボットの操縦経験を有し、ロボットアームによる 3 機の宇宙船 (人工衛星と ISS 補給機) を捕獲。ISS 「きぼう」日本実験棟を含む ISS 構成要素の軌道上組立ミッションにも参加した。

NASA 宇宙飛行士室の ISS 運用部門長、JAXA 宇宙飛行士グループ長、宇宙飛行士として初となる JAXA ISS プログラムマネージャおよび JAXA 有人宇宙飛行技術部門・国際宇宙探査センター担当理事等を歴任。2024 年 3 月に JAXA を退職し、同 4 月にアクシオムスペース入社。

九州大学で航空工学の学士、応用力学の修士、航空宇宙工学の博士を取得。

宇宙ビジネスの未来を岡山から考える ～ ビジネスと地域社会への影響 ～

プログラム

1. 基調講演 若田 光一 (Axiom Space 宇宙飛行士 アジア太平洋地域 最高技術責任者)

講演内容

宇宙開発がもたらす新たなビジネスチャンス
日本の技術と国際宇宙ビジネスの展望
自治体・企業が果たすべき役割とは

2. 対談

- ・スピーカー 若田 光一
- ・モデレーター
稲谷 芳文 (一般社団法人宇宙旅客輸送推進協議会 代表理事)

自治体・企業関係者向け特別セッションあり



日本人初の ISS 船長 (コマンダー)
若田光一氏が語る宇宙開発と産業の未来
参加ご希望の場合はお申し込みください。
お申し込みは、QR コードより

お問い合わせ

一般社団法人 MASC | <https://masc-jp.com/>
(岡山県倉敷市水島地域への航空宇宙産業クラスターの実現に向けた研究会)
岡山県倉敷市中央 1 丁目 6-23 ぐらしき空飛ぶクルマ展示場